

3月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。
各議員の主な質問は次のとおりです。



市長の思い描く、行田市 公立学校の再編成とは

町田 光（黎明21）

問 市長が思い描く北部地域及び行田市の小・中学校の再編成とは。

答 北部地域に限らず、児童・生徒の教育環境において複式学級は望ましくないと考えている。北部地域は、再編成、編入、自由選択など、地元及び教育委員会と協議の上、実現に向けて進めているところである。私の考えだけを一生懸命言っても、協議事項であり、自分の考えを押し通すことはしない。どういつ形が一番望ましいのか協議していく予定である。

問 複式学級を解消する方法として、12月の総合教育会議で市長は自由選択を認める発言をしていたが、市長が思う学校の自由選択とは、どのように考えているのか。

答 行田市全体を自由選択にする考えはなく、必要に応じて、自由選択に

してもよいのではないかと

いう程度である。必ずしも通学区を決めた中で運営するという形が理想だと思っていない。これについても協議の上のことであり、市全体ではなく地域によって、地域の皆さんと協議した結果を大事にしたい。

問 北部地域の2つの小学校は、自由選択を含めて、地域の皆さんと協議しながら進めていくという解釈でよいのか。

答 私一人で決めるわけではなく、北部地域の再編成が当初のとおり進んでいないため、地元の意向をくみながら、どれが一番よい形なのかを決めていきたい。最終的には子どものためにあると思うので、教育委員会と協議を進めながら、さらに

は、地域の意向を反映させていくべきだと考えている。



中学校の制服の現状と今後 (ジェンダーレス化)について

野本翔平（新政策研究会）

問 全国的に公立中学校における制服のジェンダーレス化が進んでおり、県内でも吉川市や新座市で導入している現状について、教育長の考えは。

答 多様な性が認められる社会づくりが重要であり、制服についても生徒の多様性を考慮して対応することが必要である。

問 本市の制服の現状は。

答 男子は全て詰襟の学生服で、女子はセーラー服またはイートンでスカートとの組合せである。

問 誰がどのように制服を決めているのか。

答 各学校で選定しているが、決定からすでに30年以上が経過しており、選定過程は不明である。

問 全国的に公立中学校における制服のジェンダーレス化が進んでおり、県内でも吉川市や新座市で導入している現状について、教育長の考えは。

答 多様な性が認められる社会づくりが重要であり、制服についても生徒の多様性を考慮して対応することが必要である。

問 本市の制服の現状は。

答 男子は全て詰襟の学生服で、女子はセーラー服またはイートンでスカートとの組合せである。

問 誰がどのように制服を決めているのか。

答 各学校で選定しているが、決定からすでに30年以上が経過しており、選定過程は不明である。



コロナ下の定住促進と 地域間格差の解消

細谷美恵子（発言と行動する会）

問 コロナ禍のため、都心を回避し、50kmから100km圏内への人口流入の動きがある。加須市では、すでに人口流入が流出を上回っており、羽生市でも上回る勢いである。本庄市では、転入相談が大きく増加しているという。一方、本市では、

昨年は流入人口が流出人口を上回ったものの、昨年には、また流出人口が増えている。しかも15歳から64歳の生産年齢層が流出しているが、どのように魅力をアピールして定住促進しているか。

答 都心に比べ広い家が手に入り、アクセスマイ、自然豊かな環境、農ある暮らしも実現可能であることなどをPRしている。

問 市長が掲げる「学力向上で定住促進」は本市への移住促進につながるが、学力テスト

と考えるが、学力テスト

「小中の全学年・全科目で県平均以上をとる」という目標はとうなったか。

答 県平均以上は小学校4年生の国語のみである。

問 学力向上支援教員を配置したティームティーキングの成果はどうか。

答 今年度開始の事業なので状況を見ていきたい。

問 行田市駅の年間乗降客数が約30万人に対し、東行田駅は約43万人で、徒歩圏内に病院やスーパーもあり、集約するに妥当な地域と言える。人口減少が進む中心部に一極集中施策を進め続けるのは無理がないか。これがさらなる地域間格差につながらないか。

答 中心部とJR行田駅周辺の二極に集約するだけでなく、既存集落などの生活道路や基盤整備を充実し、交通網など利便性を上げることで地域間格差の解消に努めたい。